

2020年11月27日

ファスニングジャーナル(4面)に掲載されました

日東精工

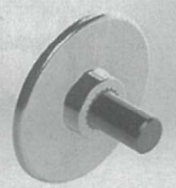
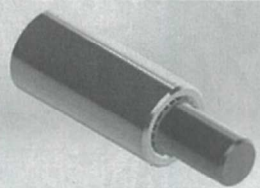
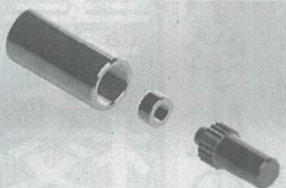
AKROSE™  
異種金属接合 S2.700-S

アルミニウム+鉄+銅の接合の一例

接合前 (冷間圧造部品)

接合前 (合体)

完成品



# 素形材センター会長賞受賞

## 異種金属接合技術 AKROSE

### 冷間圧造の応用展開

日東精工(株) (本社：京都府綾部市。材本正己社長) では、同社技術者が第36回素形材産業技術賞における「一般財団法人 素形材センター会長賞」を受賞した。該当内容は異種金属接合技術の「AKROSE」アクトースである。

今回の背景となったのは、近年、自動車業界を中心に軽量化や高強度化のニーズに対して特性が異なる金属材料などを組み合わせたマルチマテリアルが注目されている。同社では、1956年より工業用ファスナー(ねじ)の製造で培ってきた冷間圧造技術を活用し、異なる素形材の金属を接合させる工法の研究開発を重ねた結果、新発想の異種金属接合技術「AKROSE」の開発に成功。

2018年11月より販売が開始されている。AKROSEは、溶接等の冶金接合や接着剤などの化学的接合ではない新しい金属接合技術。今後の新市場を切り拓く基幹技術として注目を集めており、様々な産業での認知を高め、モノづくりの発展に貢献することを目的にこの度の素形材産業技術賞に応募がおこな

れた。素形材産業技術賞とは概ね過去五年間に開発され、ある程度の実用化や実績がある素形材産業技術の開発者を対象に表彰する。その条件は下記の通りである。

①素形材の品質、性能の向上  
②素形材生産の効率化  
③作業環境の改善  
④安全性の向上  
⑤環境の保全(公害防止、廃棄物処理、再生利用、地球環境保全)  
⑥資源およびエネルギー使用の効率  
⑦異分野企業等との連携  
事業による新たなビジネスモデル構築などの生産

アクトースのイメージ(七)。中央は受賞者の山本浩二氏。下段は経済産業省エントランスホールで展示されている受賞製品のようす



【同社受賞内容】  
受賞名：一般財団法人素形材センター会長賞  
開発技術名：冷間圧造技術を応用した異種金属接合技術の開発と応用  
受賞者：開発代表者：日東精工(株)ファスナー事業部 技術部 山本浩二氏  
共同開発者：日東精工(株)ファスナー事業部 技術部 技術開発課係長手島政和氏  
なお、受賞掲載先には経済産業省ホームページ：www.meti.go.jp/press/2020/11/20201109004/20201109004.html  
と、一般財団法人素形材センターホームページ：http://sokeizai.or.jp/japanese/award/monthly.html  
また、経済産業省エントランスホールでは受賞製品「AKROSE」の製品並びに動画が展示されている。期間は2020年11月9日～2020年12月11日。